

令和7年度運動方針(案)

1. 運動の基調

私たちの上部団体である自治労連は、昭和45年4月に設立し、長い歴史の中、「自由と民主主義と社会主義」の実現を運動原則とした労働運動を展開してきました。

この自由として民主的な労働運動は、友愛と信義に基づく個の尊厳を重んじ、自由と民主主義の立場に立ち、働くものの生活向上を図りながら、社会正義と社会の発展へと繋げるものです。

自治労連は本年5月に第56回定期大会を行いました。先人たちが築き上げてきた運動や理念、運動の根幹を成すものが何なのか、結成当時の精神に立ち返って見つめ直すことができました。これからも運動の原点に返り、自治体の共通する課題に対し、統一的、効果的に問題の解決を図ることであり、労働運動の民主化を通じて地方政治のよりよき発展に貢献しなければなりません。

自治労連の運動は、民に近い官の考え方を大切にしながら、『住民目線』『市民目線』を常に意識した労働運動を展開していきます。

自治労連の基本理念と精神のもと、我々第一職員労働組合も組織拡大、単組間の情報共有や交流、教育活動、ユース部活動等、自治労連活動への取り組みを強化します。

2. 運動方針

私たち第一職員労働組合は、組合員や市民のために、労働運動の改革に取り組んで行かなければなりません。要求しても変わらない労働環境、精神的に悩んでいる組合員の環境整備をして行かなければなりません。仕事はきつくとも楽しい職場・楽しい仲間づくりが必要です。

昨年的人事院勧告は、約30年ぶりの高水準のベースアップとなり、平均11,183円(2.76%)でした。熊本市は、平均3.07%の引き上げとなりましたが、組合員は生活が向上したと実感している人は少なく、物価高騰、ガソリン価格の上昇など支出が賃上げに追いついていない状態です。

また、熊本地震から9年、新型コロナウイルス感染症の流行から5年が経過しましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行で人流が活発化して個人消費とインバウンド需要も回復しました。

これからも『組合員ファースト』でイベントなどを行っていきます。

人員の確保、人材の育成、ハラスメントの防止など、我々労働組合は、組合員が安心して働ける職場・環境づくりが必須であります。

今年度も計画的に夏期休暇や年次有給休暇を取得するのはもちろんですが、仕事と家庭の両立支援・心の健康づくりを推進し、仕事と生活の調和「ワーク・ライフ・バランス」をさらに推進していきます。

3. 2025春季生活闘争の取り組み

連合熊本2025春闘スローガンは、

『みんなでつくろう、賃上げが当たり前の社会!』

『みんなでつくろう、働く仲間の労働組合!』

と位置付け、取り組んでいます。

●連合熊本2025春闘の取り組み

【すべての組合が全力で賃上げに取り組み、全体の底上げと同時に規模間、雇用形態間、男女間などの格差是正の流れを経済社会の新たなステージへ定着させるべく賃上げへ取り組み、社会全体への波及をめざす。産業相場や地域相場を引き上げていく「底支え」、企業間格差、雇用形態間格差、男女間格差を是正する「格差是正」に寄与する「賃金水準追求」の取り組みを強化し、賃上げを社会全体に波及させるため、それぞれの産業における最大限の「底上げ」に取り組む。】

熊本市は、政令指定都市13年目となり、更なる発展や暮らしやすい熊本市にするため、また、熊本地震の早期復旧や新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ地域経済の回復に向けて職員・組合員が全力で取り組んでいます。

全ての組合員が安心して元気に、熊本市のために生き生きと働き続け、熊本市民全ての方々が心豊かな生活を実現するように、2025春季生活闘争の要求を行いました。

4. 第一職労の歴史・未来

熊本市役所第一職員労働組合は、昭和41年5月、熊本市役所内に複数の組合がありましたが、当局への不満・現場の末端の声が通らない、色々な思いで「職員労働組合」と「第一現業労働組合」が合併し、『熊本市全現業職員労働組合』として設立されました。

そして、昭和41年7月16日、熊本県福祉会館ホールにて組合員409名の同志が集いその第一歩を踏み出し、組合名も『熊本市役所第一職員労働組合』に改名されました。

昭和43年12月、上部団体である全国自治団体組合連合（自治労連）の組織結成準備会が結成され、私たち組合も加盟しました。

また、昭和45年4月、福岡市において自治労連結成大会が開催され、結成大会において全日本労働総同盟（同盟）、全日本官公職労協議会（全官公）加盟決議決定がなされました。

昭和62年10月、全国の組織で労働戦線統一が掲げられ『全日本労働総同盟（同盟）』が解散、現在の『連合』が発足、上部団体である自治労連も加盟することとなりました。

現在、自治労連のもと、上部組織である日本労働組合総連合会（連合）、公務公共サービス労働組合協議会（公務労協）、政策研究フォーラム（旧・同盟）等へ加盟、活動をしています。

平成28年1月16日に組合員・組合役員の先輩方と「組合結成50周年記念式典・レセプション」を開催いたしました。

現在、組合員数も減少していますが、第一職労の未来のために、今後、60周年・70周年・・・100周年目指して活動をしてまいります。令和8年には、結成60周年を迎えます。

【組合の歴史】

- 昭和41年5月 「熊本市役所第一職員労働組合」設立
・組合員数 409名
・初代執行委員長 甲斐 豊氏
- 昭和41年7月 「組合第1回定期大会」開催
- 昭和43年5月 組合役員改選・・・2代目執行委員長 永田 昭氏[～昭和54年度まで6期]
- 昭和45年5月 「自治労連」結成・・・32単組にて「全日本労働総同盟」に加入
- 昭和55年5月 組合役員改選・・・3代目執行委員長 島田道登氏[～平成5年度まで7期]
- 昭和60年7月 「第20回定期大会&組合員1,000人突破記念式典」開催
- 昭和62年10月 「全日本労働総同盟」解散、「連合」発足加盟する
- 平成6年5月 組合役員改選・・・4代目執行委員長 武田幸男氏[～平成13年度まで4期]
- 平成8年7月 「第31回定期大会&組合結成30周年記念レセプション」開催
組合員数1,200名突破
- 平成14年5月 組合役員改選・・・5代目執行委員長 前田 勇氏[～平成17年度まで2期]
- 平成18年5月 組合役員改選・・・6代目執行委員長 江藤文男氏[～平成19年度まで1期]
- 平成18年7月 「第41回定期大会&組合結成40周年記念レセプション」開催
- 平成20年5月 組合役員改選・・・7代目執行委員長 藤田俊明氏[～平成21年度まで1期]
- 平成21年5月 下水道部・病院局 分会設立
- 平成21年10月 ユース部結成「第1回総会」開催
- 平成22年5月 組合役員改選・・・8代目執行委員長 兼武道雄氏[～平成25年度まで2期]
- 平成23年8月 上下水道局分会へ分会名変更(旧:下水道部分会)
- 平成24年4月 熊本市が指定都市となる
- 平成26年5月 組合役員改選・・・9代目執行委員長 福田幸弘氏[～令和3年度まで4期]
- 平成28年1月 「組合結成50周年記念レセプション」開催
- 平成28年4月 平成28年熊本地震
- 令和2年2月 新型コロナウイルス
- 令和4年5月 組合役員改選・・・10代目執行委員長 蜂屋 徹氏[～令和5年度まで1期]
- 令和6年5月 組合役員改選・・・11代目執行委員長 福田 幸弘氏[～令和7年度まで1期目]
- 令和7年7月 第60回定期大会
・組合員数 621名
・11代目執行委員長 福田幸弘氏
- 令和8年7月 組合結成60周年を迎える!

5. 専門部活動について

●各専門部活動は、一人一人の組合員が安心した生活、安心して仕事ができるように取り組んで行きます。

○ 組織対策部の取り組み

組織対策部においては、第一職労組合員の減少が一番の課題です。この大きな問題について、これから組合の在り方や活動について向き合っていかなければなりません。新規採用職員や組合未加入者に『第一職労の良さ』『アットホームな組合』をアピールしていき、魅力ある組合にしていくためにも、組織強化が必要です。

また、組織拡大と組合員のコミュニケーション、団体交渉・職場オルグ活動に力を入れていき、組合離れ・組織率の低下などの原因・理由を把握するために組合役員や組合員の不満を聞く必要があります。

執行部・分会・代議員研修会を行い、労働組合への意識や働き方への意識の向上、組合員間の共助の輪が構築されるように努めていきます。

熊本地震から9年、これからも、災害復興を加速しなければならない厳しい状況ですが組合員のみなさんとコミュニケーションを今まで以上に図ります。職員の働き方改革や長時間労働の撲滅、ノー残業デーの完全実施などを実現させ、ワーク・ライフ・バランスを推進していきます。

○ 給与対策部の取り組み

給与対策部においては、物価高騰にスライドするよう、連続の給与・ボーナスのアップが求められます。今年度の春闘は、平均賃上げ率は5.32%（前年実績比+0.22%）、ベースアップに相当する「賃上げ分」は3.75%となりました。昨年実績を大きく上回る賃上げで、一定の成果を上げました。本市としては、例年国の人事院勧告、市人事委員会への申入れや交渉を行い、秋の給与確定交渉に向け協議を進めていました。

また、時間外縮減や休暇取得の促進に努め、今年度から導入される「週休3日制」「フレックスタイム」「勤務間インターバル」などの制度の定着・拡大を求めています。

○ 情宣部の取り組み

情宣部においては、組合活動の情報発信として、各職場から組合員にインタビューを行い、組合情報紙、ホームページ、フェイスブックで発信し、みなさんが頑張っているところをPRします。

今年度も委員長だよりを随時発行して組合の活動や各職場からの情報を伝えて参ります。

組合活動の原点・歴史を振り返り、第一職労の良さを組合員に発信し、今以上に組合活動・行事に参加していただくように取り組みをしていきます。

○ 文化厚生部の取り組み

文化厚生部においては、仕事に全力で取り組んでいる組合員が、癒され、職場・知人・家族で楽しい時間を過ごせるような企画を行います。今年度も「花火大会チケット補助」、「ビアパーティー」など様々な企画を行ってまいります。

また、文化活動などの一部補助を行い、休暇の有効活用による心身のリフレッシュとゆとりのある生活スタイルの転換を目指して、多くの組合員が文化意識の高揚になるよう努めてまいります。

○ ユース部・女性部の取り組み

ユース部においては、これからの組合の若き担い手として人材育成、ネットワークづくりは必要不可欠です。また、今年度より女性部と合同で活動を行い、新採や若手組合員に「市役所」「仕事」「労働組合」が楽しく、興味を持ってもらうように活動参加の呼びかけや組合ホームページ、フェイスブックで情報発信をしていきます。

今年度も、各職場での問題や上司に言えない悩みなどの解決に努めます。また、受験可能年齢が31歳に引き下げとなった主査級昇任試験についての意見交換を行い、ユース部員・女性部員のスキルアップに努めて行きます。

何と言っても若いユース部の元気、女性部の元気が組合の活力源です。一人でも多く組合に加入していただき、『第一職労』の活動に興味を持ち参加してもらうよう全力で取り組んで行きます。